みさとまち

No.89 2026
令和8年11月1日

議会だより



9月会議

7年度決算 行財政運営に意見 …… 2
一般質問 6議員が16項目 …… 13
追跡 名びれ沼地区排水ゲート …… 21
ふれあいコーナー おひざにだっこの会 …… 25

おいしい新米　早く食べたいな

関連記事24ページ

一般会計歳出 117億3510万円

行財政運営に意見

決算審査特別委員会で審査

9月会議が9月1日から16日まで開かれました。一般質問では6人が16項目を質問、議案の審議では、補正予算、7年度決算認定など18議案を原案どおり可決しました。

会計別の決算状況

一般会計・特別会計

会計区分	歳入額	歳出額	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支額	基金繰入額
一般	125億7874万円	117億3510万円	4億8123万円	3億6242万円	2億円
国民健康保険	27億1098万円	26億6924万円	0円	4174万円	2090万円
後期高齢者医療	4億2370万円	4億1940万円	0円	430万円	0円
介護保険	27億 784万円	26億3916万円	0円	6868万円	3500万円

公営企業会計

会計名		収入額	支出額	差引額
水道事業	収益的収支(税抜)	7億5048万円	6億9915万円	5133万円
	資本的収支	2億 691万円	4億8530万円	△2億7839万円
病院事業	収益的収支(税抜)	6億8166万円	7億5824万円	△7658万円
	資本的収支	4910万円	5788万円	△878万円
下水道事業	収益的収支(税抜)	9億6812万円	9億6215万円	597万円
	資本的収支	8億9404万円	12億5932万円	△3億6528万円

執行の概要を問う 総括質疑

公共施設管理計画の達成状況は

問 公共施設等総合管理計画、公共建築物の質と量の適正化は計画どおり行われたのか。

答 7年度末現在の公共施設の延べ床面積は約13万7000平方メートルである。新中学校の整備が完了し、供用を開始した一方、新旧施設が一時的に併存している状況である。

旧中学校2校解体後の延べ床面積は約12万5000平方メートルとなり、現在より約1万2000平方メートル減少する。

7年度末の延べ床面積だけを捉えれば、計画に掲げる削減目標を達成している状況ではないが、新中学校の整備と旧中学校の解体など、施設の再編は具体的に進んでおり、長期目標の達成に向けた取組を進めている。

歳入確保の分析は

問 どのような分野で収益向上となったのか。

答 基金の債券運用面で一定の成果があった。具体的には債券による資金運用を進めたことにより、7年度の利子収入は大幅に増加となった。町が保有する資金について安全性を確保した上で、効率的な運用を行うことにより、歳入確保につなげることができた。

未利用財産については、資産状況を改めて整理し、売却や貸付けなどの特性に応じた有効活用を進め、自主財源の確保と将来的な維持管理経費の削減につなげていく。



７年度決算をチェック　予算はどのように使われたか

放課後児童クラブ施設整備事業
２億2272万円



小牛田小学校の敷地内に小牛田放課後児童クラブが整備され、移動の安全が確保されました。

物価高対応子育て応援手当支給事業
5918万円



物価高の影響で子育て世帯の家計負担が増加していることから、経済的な負担軽減を図るため支給しました。

教育用タブレット端末購入費
4702万円



美里中学校で使用する教育用タブレット端末639台を更新し、９年4月から運用されます。

小型動力ポンプ積載車購入費
817万円



消防団が円滑に消防活動を行えるよう、小型動力ポンプ積載車を購入し第1分団に配置しました。

一般会計　歳入の推移

	５年度		６年度		７年度	
町税	23.4%	26億7709万円	16.4%	25億9656万円	22.1%	27億8646万円
地方交付税	35.7%	40億8913万円	27.0%	42億5891万円	36.8%	46億3467万円
町債	5.7%	6億4671万円	19.2%	30億3519万円	3.7%	4億5990万円
国・県支出金	19.7%	22億4424万円	22.6%	35億6680万円	20.0%	25億1124万円
その他	15.5%	17億8129万円	14.8%	23億3190万円	17.4%	21億8647万円
合計	100%	114億3846万円	100%	157億8936万円	100%	125億7874万円

決算審査意見書

決算を分析
講じ適切に執行

監査委員による審査は６月16日から７月10日までの間に10日間行われました。

【審査の結果】

予算を効率的かつ適切に執行されたと認められ、決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であると認められる。

昨年度に引き続き物価高騰対応重点支援給付金事業による家計への支援、また、放課後児童クラブ整備事業では、小牛田小学校敷地内に放課後児童クラブ施設を建設し８年４月から供用が開始されるなど、着実に各種事業に取り組んでいる。

限られた財源を効果的に活用しながら日々の行政サービスの質の向上を着実に進めていくよう期待する。



相馬代表監査委員の監査報告

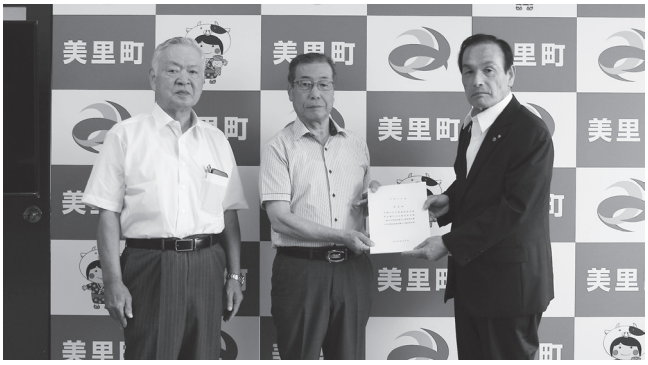
■町税や使用料などの収納状況

項目		収入済額	収入率	不納欠損額	収入未済額
町税	町民税	11億4978万円	98.0%	103万円	2256万円
	固定資産税	12億5953万円	96.1%	690万円	4376万円
	軽自動車税	9474万円	96.6%	27万円	307万円
	都市計画税	9868万円	95.8%	21万円	416万円
国民健康保険税		5億1607万円	90.9%	322万円	4847万円
後期高齢者医療保険料		3億3161万円	99.7%	4万円	83万円
介護保険料		6億　36万円	99.0%	41万円	559万円
保育所使用料		1092万円	98.9%	11万円	1万円
町営住宅使用料		5967万円	90.5%	－	624万円
幼稚園使用料		5万円	29.5%	8万円	5万円

■借り入れ現在高

一般会計	111億　546万円
水道事業会計	27億9691万円
病院事業会計	1億4606万円
下水道事業会計	79億4303万円

（債務負担行為は含まない）



決算意見書を町長へ

７年度の物価高騰対策を

財政の健全化判断比率

健全化判断比率およびそれらの算定の基礎となる事項を記載した書類が法令に適合し、かつ正確であると認められる。

■財政分析主要指数の推移（一般会計）

区分＼年度	６年度	７年度	前年度対増減
ア　財政力指数	0.415	0.412	△ 0.003
イ　実質収支比率	5.0%	4.8%	△ 0.2%
ウ　経常収支比率	89.9%	91.8%	1.9%
エ　実質公債費比率	7.9%	7.5%	△ 0.4%
オ　将来負担比率	46.1%	48.9%	2.8%

監査のポイント

ア　財政力指数

財政力を判断する指標として用いられ、過去３年間の平均値を使用する。この指数が１に近いほど財源に余裕があるとされる。

イ　実質収支比率

※標準財政規模に対する実質収支の割合である。正数の割合が大きいほど健全な収支といえる。

ウ　経常収支比率

財政構造の弾力性を判断する指標として用いられ、数値が高いほど、投資及び臨時経費に充てることのできる財源に余裕がなく、財政が硬直化していることを示す。

エ　実質公債費比率

公債費による財政負担の状況(資金繰りの程度)を示す指標であり、過去３年間の平均値を使用する。地方債発行の同意基準として用いられる。この比率が小さいほど、財政負担は軽いといえる。

オ　将来負担比率

一般会計等が将来負担すべき実質的な債務の標準財政規模に対する割合である。この比率が高い場合は、将来の財政負担が大きいとされ、今後の財政運営が圧迫される可能性があることを示す。

■基金（８年3月31日現在）[土地・債券等を除く]

財政調整基金	13億2952万円
合併振興基金	4億9355万円
福祉基金	6325万円
減債基金	3億8906万円
公共施設整備基金	3億5093万円
その他目的基金	5億4834万円
国保事業財政調整基金ほか	3億9927万円
介護給付費準備基金	7億6682万円
基金合計	43億4075万円

■資金不足比率

公営企業会計ごとの資金不足額の事業規模に対する比率である。早期健全化基準は20％だが、資金不足額はない。

会計の名称	７年度
水道事業会計	資金不足額なし
病院事業会計	
下水道事業会計	

※標準財政規模とは…標準的な行政活動に必要な経常的一般財源の規模。

特別委員会

7年度決算の 7議案を認定

可決

決算審査特別委員会
委員長 **前原吉宏**



7年度決算7議案は、決算審査特別委員会に審査が付託されました。

同委員会では決算内容を精査するため、2つの分科会を設置し、担当課への聞き取りや現地調査を行いました。

また、9月11日に行われた連合審査では、2人の委員が8項目を質疑しました。

各分科会の審査報告をもとに、決算7議案についてすべて認定すべきとの審査報告書を、議長に提出しました。

審査報告書の意見

歳入	①国民健康保険税改定により増収となった。各課連携し、住民に寄り添い、さらなる収納率向上に努められたい。 ②ふるさと応援寄附金など自主財源の確保に一層努められたい。 ③基金運用については万全を期されたい。
総務費	①住民の利便性向上にむけ、DXの推進に努められたい。 ②旧中学校跡地等の有効活用を図られたい。
民生費	①子ども医療費助成事業実施に向け、宮城県と連携し、万全を期されたい。 ②放課後児童クラブ運営に万全を期されたい。
衛生費	①空き家等対策事業の適切な実施に努められたい。 ②燃やせるごみの排出量に留意し、さらなる減量に努められたい。
農林水産業費	情勢に応じた新規就農者の確保、担い手の育成になお一層努められたい。
商工費	①新規事業者及び既存事業所の支援になお一層努められたい。 ②付加価値の創出と販路開拓の支援、商工及び物産、観光の振興を図られたい。
土木費	町道、公園等の整備維持管理について引き続き努められたい。
消防費	消防団員の確保や消防設備の適切な管理に努められたい。
教育費	①中学校地域学校連携事業の推進に努められたい。 ②いじめ防止、不登校対策に万全を期されたい。
介護保険	配食サービス事業の利用者拡大に努められたい。
水道事業	さらなる有収率向上に向け、漏水対策・老朽管更新に努められたい。
病院事業	①事業収入確保対策に努め、地域医療の安定に万全を期されたい。 ②大崎地域医療連携の更なる推進に努められたい。 ③医師、医療従事者の確保に万全を期されたい。
下水道事業	①基本構想に基づき、公共下水道や浄化槽設置の整備促進を図られたい。 ②水洗化率の向上と下水道施設の維持管理に努められたい。

決算の詳細を問う

連合審査

施設の活用は

問　活き生きセンター施設管理費476万円について、施設の利用状況、活用状況は。

答　乳幼児健診や各種がん検診および各種団体の会議に活用し、延べ利用者数は2262人である。活き生きセンターの一部を南郷病院の職員事務室に使用している。

相談窓口を設置

問　こども家庭センター運営事業822万円の内容は。また、7年度からの事業であることから改善すべき事項はなかったか。

答　相談業務などの会計年度任用職員人件費2人分、研修会参加旅費、キッズコーナー絵本、事務用品である。

　また、児童福祉部門と母子健康部門を一体的に支援することを目的に7年4月1日から設置し、情報共有を図り支援を行っている。相談窓口体制の改善や住民への周知をしていく。

有価証券を運用

問　基金に係る有価証券運用の概要は。

答　債権運用指針に基づき7年7月から6つの基金現金を原資に券面金額10億円で運用を開始した。

　満期保有を原則に国債や地方債、信用格付の高い事業債や電力債など国内債券に限定し5銘柄の債権を購入している。基金保有額の多い基金と併せ少額の基金の一括運用を行うラダー型運用とし、基金の将来的な取崩しにも対応する。

　7年度の利息収入は、総額264万1216円である。

障害者スポーツ拡充は

問　スポーツレクリエーション教室開催等事業5万円の内容および事業の拡充は。

答　美里町障害者福祉協議会に事業費を交付し、障害者スポーツ大会の活動支援や障害者スポーツ教室での実技指導を実施している。活動団体が増えるよう啓発に努める。



活き生きセンターの活用を

賛否討論　7年度一般会計決算



反対　伊藤　牧世

委託業務の遂行を

　地域スポーツクラブ支援業務委託料305万円の業務内容は①地域クラブ支援②登録バンク運用③情報ライブラリー運用④指導者等研修会⑤部活動地域講演会⑥部活動地域相談窓口であり、受注業者は美里町スポーツ協会である。この業務委託料は団体に対する活動助成金ではない。業務委託契約のもと業務を行う義務があり、全うする事で委託料を得る権利が生じる。7年度の業務遂行状況から①～⑤の委託業務は適正に執行されていないと判断。相談は第2・4金曜日に中学校で行い、7人である。予算計上時に懸念事項を述べたが、業務委託決定の判断、選考の公平性、公明性、透明性を欠如している。

　住民は何の事業にお金を使っているか注視している。事業の容認は、町の信用と信頼を著しく低下させる懸念がある。



賛成　村松　秀雄

さらなる行政サービスの向上に期待

　7年度は、物価高騰の長期化や人口減少、少子高齢化の進行など町民生活と町財政を取り巻く環境が一層厳しさを増す中、合併20周年という節目を迎えるための重要な年度であったが、町は第2次美里町総合計画、美里町総合戦略及び施政方針に基づき、限られた財源を有効に活用しながら町民生活に直結する施策を着実に推進した。

　特に4月に開校した美里中学校にコミュニティスクールを導入し地域学校連携室を設置。小牛田放課後児童クラブの整備など、教育・子育て施策に充実が図られた。

　今後も持続可能な財政運営と行政サービスのさらなる向上に取り組まれることを期待する。



賛成　柳田　政喜

十分に審査され適正である

　7年度の決算審査については、総務、産業、建設分科会および、教育、民生分科会、両分科会において十分に検討された。

　決算審査特別委員会委員長の報告どおり、適正であることから賛成する。

討論とは？

　地方議会（町村議会）において採決の前に、議員が議案に対して反対か賛成か自己の意見を表明し、その理由を述べることです。



い詳細に審査

総務、産業、建設　分科会

各課連携により収納向上を

町税の安定的な収納を確保するため、口座振替、コンビニエンスストアおよびスマートフォン収納、QRコード収納等多様な納付環境を生かし更なる収納率向上を図るよう求めた。

自主財源の確保を

ふるさと応援寄付金額は県内自治体では低いランクになっている。提供者の掘り起こしや返礼品の種類拡大など自主財源の確保に努めるよう求めた。

旧中学校跡地の有効活用を

旧小牛田・不動堂中学校解体後の跡地および旧南郷中学校の利用について、住民ワークショップ、サウンディング調査、大学生連携プロジェクトの3つの取組に先進事例を取り入れながら早期に実現するよう求めた。



整備された鞍坪（くらつぼ）水門

担い手の育成とブランドの発信を

集落営農組織に対する法人化のみならず多様な担い手育成の支援を強化し地域農業の維持に一層努めるよう求めた。

また、町内農産物を活用した商品開発数増加をめざし、カタログ作成の支援や町内外で開催されるイベントにおいても更なるアピールをするよう求めた。

町道・公園の維持管理を計画的に

優位な財源を活用し、町道、公園、橋りょうなどの整備を計画的かつ継続的に進めることにより安全で快適な生活環境基盤の保全を図るよう求めた。

消防団員の確保と設備の適正管理を

消防団員が減少傾向にあり、団員の確保は喫緊の課題となっている。

また、火災発生時における消防ポンプの作動が確実に行えるよう通常の点検管理に努めるよう求めた。

公共下水道と合併浄化槽の促進を

下水道の基本構想に基づき早期整備を進めるとともに、合併浄化槽については地域住民の理解を得て整備促進に努めるよう求めた。また水洗化率向上に向け接続奨励金等の周知を求めた。



青生コミュニティセンターのエアコンを整備

所管課

総務課、企画財政課、まちづくり推進課、防災管財課、税務課（国保税除く）、会計課、産業振興課、建設課、下水道課、農業委員会事務局、議会事務局

特別委員会分科会で 現地調査も行

教育、民生　分科会

宮城県と連携し万全を

子ども医療費助成事業において、宮城県の助成事業は入学前の所得制限付きであり、助成額の約一割に留まっている。国では子ども医療費の無償化に向け議論されているようではあるが一向に進む様子もなく、町の負担が増加している状況にある。今後、先進地である都道府県同様に県の事業として補助枠を拡大するよう、町が一体となり求めるべきである。



園児に人気がある遊具

いじめ防止 不登校対策に万全を

不登校の理由が多様化しており、全国的にも対応に苦慮している状況にある。本町も同様で不登校の児童・生徒が一定数いることから、一人一人に寄り添い、改善に努めるよう求めた。

配食サービス事業の拡大を

一人暮らし高齢者の栄養充足率低下が懸念されている。事業費の増額、配食数の増加とともに物価高騰による配食代金50円の増額を確認した。

各課連携し町施設の有効利用の検討を行い、安全で安心、安価な食事を提供できる体制を構築するよう求めた。

学校給食センターの有効活用を

南郷学校給食センター事業における南郷中学校分の減額を確認した。

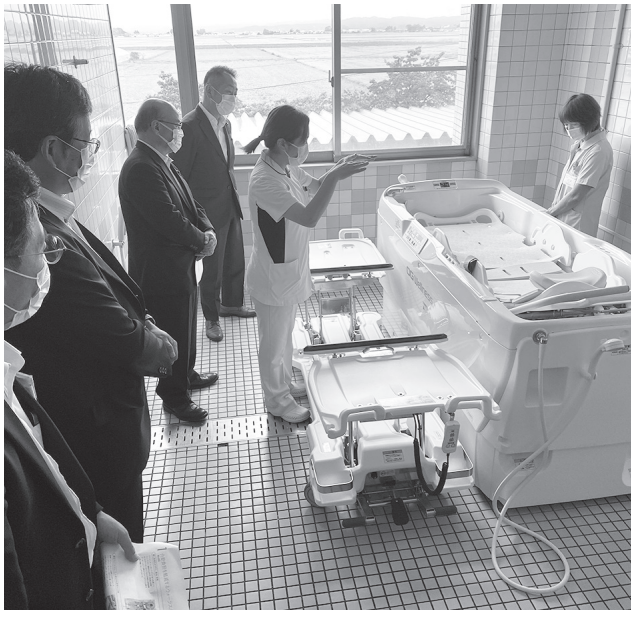
委託事業の効率化、施設の有効活用のため、配食サービスや小牛田地区の幼稚園給食調理を検討すべきである。

地域医療の安定に万全を

病院事業会計においては、医業収益が減額となっており、現在、南郷病院の在り方検討会を開催しているようであるが、地域医療体制確保のため万全を期し、事業収入確保に尽力するよう求めた。

大崎地域医療連携のさらなる推進を

現在、大崎市民病院敷地内に地域病院連携室の建設が進んでいるが、周辺協力病院の脆弱化に繋がらないよう、注視し、システムの共通化、共同購入の推進に努めるよう求めた。



南郷病院の特別浴槽を更新

所管課

教育委員会教育総務課、町民生活課、税務課（国保税）、健康福祉課、長寿支援課、子ども家庭課、水道事業所、南郷病院

8年度 補正予算で快適なプールに

一般会計

（要旨）5751万円を追加し、歳入歳出予算の総額を115億9971万円としました。

賛成全員（可決）

《主な歳出》

- 公共建築物個別施設管理計画策定支援業務委託料 …… 1012万円
- 旧南郷中学校防火シャッター修繕工事請負費 …… 143万円
- 駅東地域交流センター屋根改修工事請負費 …… 660万円
- 保健福祉施設長寿命化計画策定支援業務委託料 …… △959万円
- 宿泊税交付金基金積立金 …… 68万円
- 地域クラブ活動支援補助金 …… 16万円
- 多目的プールろ過ポンプ改修工事請負費 …… 206万円
- 省エネルギー設備設置工事請負費 … 3698万円

《主な歳入》

- 宿泊税市町村交付金 …… 68万円
- 文化芸術振興費補助金 …… 11万円
- 介護保険特別会計繰入金 …… 2167万円
- 財政調整基金繰入金 …… 2648万円
- 公共施設等適正管理推進事業債（駅東地域交流センター改修事業） …… 590万円

質疑

効率的な公共施設マネジメントに

問 公共施設等マネジメント推進事業にある公共建築物個別施設管理計画策定支援業務委託料の内容は。

答 企画財政課と防災管財課で公共施設の管理方法について事例研究を行った結果、これまでの施設単位で計画策定する手法よりも町内にある公共施設を網羅した形で策定する手法のほうがより効率的であり、1つの計画をつくる際に何百万円というお金をかけ個別に行っていた施設単位の計画策定予算が不要となることから、費用対効果が高いと判断した。

問 計画策定までのスケジュールは。

答 12月より作業に入り、9年度9月、10月ぐらいを目途に計画を完成させ、向こう10年間使える計画で考えている。

問 これまで個別施設計画を作成していたものを切り替え、一括して行うというが、整合性はあるのか。

答 これまで、それぞれの施設を管理する課において、長寿命化計画を策定し管理してきた。策定時期もばらばらであるが、情報を引き継ぎつつ、公共施設を網羅した形で計画を策定する。

老朽化のポンプ更新

問 スイミングセンター多目的プールろ過ポンプ改修工事請負費206万円の内容は。また、これまでに、どのような影響が出ていたのか。

答 多目的プール用のろ過ポンプの老朽化により水漏れが発生しており、ねじの締めつけで対応していたが、定期点検の際に、応急対応が限界となり、1基を更新する。

問 水漏れによる多目的プールの水深が保たれないなど、現場での影響は。

答 老朽化により、ろ過装置からの水漏れで、効率が非常に落ちている。プールに、一定の水量は確保されているが、ろ過をする際に水が排出されることによる影響はあった。

問 工事の期間および使用に関しての影響は。

答 更新工事は、プール休館予定の1月から2月の期間に行うことで、営業への影響は少ない形で対応を考えている。



老朽化する公共施設

スイミングセンター省エネ工事
水中ヒーター設置

省エネで水温維持

問 スイミングセンター施設管理の工事費3697万円のスケジュールを含めた内容は。

答 スイミングセンター省エネルギー設備設置工事は1月～2月の休館で実施する。

工事は、プールの中に熱源となるヒーターを設置し水温を保つ構造を構築する。プール内に熱損失が低い省エネ構造となっている特殊な熱交換パイプを設置し、パイプ内管に給湯器で加温したお湯を循環させることで水温を保つ構造である。

パイプ1メートル当たり内管に使用するお湯の量が50ミリリットルと少なく、そのお湯の温度の約90パーセントが外に伝達される構造である。60度のお湯を内管に流した場合、外管の表面温度が約54度となり、プール内に熱源として設置することで直接プールの水を保護する。

また、内管を流れるお湯の温度維持率は100メートルで95パーセント、60度のお湯を流した場合、100メートル先で57度を保つ熱損失が低い構造であり、内管内を循環して戻ってきたお湯を再度加温するための燃料消費が低く抑えられる。



冬季利用拡大に期待

問 スイミングセンター利用への影響は。

答 利用者の影響は、工事期間を休館中に想定している。

また、プール内に配管を設置する関係で一部水深が浅くなるが、全体的に大きな影響はないと判断している。

吹奏楽の活動を支援

問 地域クラブ活動支援補助金16万円の内容は。また、どの様な活動をする団体なのか。

答 部活動の地域展開に係る事業費で、文化活動を行う1団体に対する補助金である。

また、支援を行う団体は、吹奏楽関係の活動団体である。

人事案件

人権擁護委員の推薦（9月会議）

岡（おか）　文（ふみ）　氏（西原）

町長が議会の意見を聞いて法務大臣に推薦します。任期は令和9年1月から3年間です。

意見が分かれた議案の賛否一覧

■令和8年度9月会議

○は賛成、×は反対、欠は欠席を表しています。議長は表決に加わりません。

議案番号	議案名＼議員氏名	関根浩幸	平吹淳	髙嶋秀治	鈴木恵悦	伊藤牧世	柳田政喜	佐野善弘	赤坂芳則	吉田二郎	村松秀雄	山岸三男	前原吉宏	鈴木宏通	賛成	反対	審議結果
認定第1号	令和7年度美里町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	－	11	1	認定

※すべての議案の賛否一覧は美里町公式ホームページに掲載しています。

※審議結果はこちら（町議会→議案等の審議結果）

悪天候でも聞き取りやすく
第2期防災行政無線更新

防災無線工事で音質向上

（要旨）60局設置してある更新工事のうち、前回工事の22局を除いた38局の更新工事を実施し、季節や天候状態に合わせて放送音を自動で聞き取りやすく変換することで、音質の向上が図られるものです。入札で扶桑電通株式会社東北支店と落札額5940万円（消費税込）で工事請負仮契約を締結しました。

賛成全員（可決）



災害時に役立つ防災無線

質疑

問 38局全部が同じ工事を行うのか。また、どのような工事か。

答 全て同じ工事となり、基盤、バッテリー、アンテナの更新を行う内容となる。

ボックス内は手の届く範囲内で工事を進め、アンテナは工事車両に乗って工事を行う。

問 工事金額が、前期より下がっているが。

答 第1期は6、7年度に実施し、第2期目は8、9年度に実施する。1期目で防災管財課に設置してある操作基盤などの更新も実施しており、金額は1期のほうが高くなっている。

宿泊税交付金が配分

（要旨）県から交付される宿泊税市町村交付金を適正に管理および運用し、観光振興を図るため、基金を設置するものです。観光資源の魅力の増進、旅行者の受入れに必要な環境整備、その他の観光振興に要する経費に充てることとされています。

賛成全員（可決）

質疑

問 宿泊者数の配分は、どのように算定しているのか。

答 6年度の宿泊者数を基準に算定している。

6年度の宿泊者数が5260人で、そのうち宿泊税が生じる6000円以上の人数3522人に一律50円を乗じた金額として、17万6000円が宿泊者配分となる。

また、均等配分としての50万円と併せて67万6000円が本町に配分予定となる。



6000円以上の宿泊に300円の課税

ズバリ 町政を問う

一般質問

議員が行財政全般について執行機関に疑問点や方針を問うものです

9月1日から2日に一般質問が行われました。
今回は6人の議員が、スマート農業や防災のデジタル化、肺炎球菌予防接種率の向上についてなど16項目にわたり、町の方針を問いただしました。



平吹　淳……14
①地域学校連携室の役割は
②スマート農業への支援は



伊藤　牧世……15
①防災のデジタル化は
②命を守る安全水泳学習を



関根　浩幸……16
①人的支援の受入れ体制は
②肺炎球菌予防接種率の向上を



柳田　政喜……17
①安全な避難路の周知を
②提案事業を実施できるのか



髙嶋　秀治……18
①米価下落対策を
②窓口受付時間の短縮は



佐野　善弘……19
①消費税減税政策農家に影響
②南郷病院持続可能な体制は

一般質問あれこれ…20

各議員のページでお知らせできなかった質問を抜粋しています。

議会の映像を配信しています。

議場に来ることができない方も、パソコンやスマートフォンから、いつでも議会の映像を見ることができます。

議会当日は、本会議の映像を生中継で配信しています。

その後は、録画映像として配信しています。

美里町公式ホームページ
(URL:https://www.town.misato.miyagi.jp)
から**「町議会へようこそ」**

⬇

「YouTube」にアクセスしていただき、ご覧ください

地域学校連携室の役割は

〈町長〉取組みを踏まえ協議



平吹（ひらぶき）　淳（あつし）

問　美里中学校におけるコミュニティスクール導入後の現状課題を把握しているか。また、その課題をどのような方法で整理しているのか。

教育長　現状課題の把握は、学校運営協議会で協議している。

問　地域学校連携室の役割を地域人材調整・協働本部連絡・授業連携調整・地域行事連携の４領域として明文化しているのか。

教育長　明文化はしていないが、これまでの取組を踏まえ、地域学校連携室の役割などの明確化について協議していく。

問　地域学校協働本部の役割を学校支援・地域人材活用・地域連携授業・保護者参画・地域課題解決の５領域として明文化する考えはあるか。

教育長　現時点では明文化する考えはないが、これまでの取組を踏まえ、地域学校協働本部の役割について協議していく。



生徒の希望で地域の皆さんと合唱

問　小学校６校のコミュニティスクール導入時期は。

教育長　９年度に不動堂小学校にコミュニティスクールを導入し、12年度までには全ての小学校へ導入することを目標にしている。

スマート農業への支援は

〈町長〉国の補助事業を活用

問　親元就農者の独立・自営就農の判断基準について、町としての基準を明確化し、チェックリストとして公表する考えは。

町長　独立・自営就農の独立性の判断基準やチェックリストの公表については、国の事業要綱がインターネット上に公表されており、特に考えていない。個別相談を通じてきめ細かく対応する。

問　親元就農者が利用できる国の新制度案内を積極的に整える考えはあるのか。

町長　ホームページ上で事業案内や広報などで相談窓口として産業振興課を紹介するよう考えている。

問　農家が将来像を描けるよう６地区の経営を統合した美里町版・農地集約化戦略を策定する考えは。

町長　統合した農地集約化戦略を策定する考えはない。

問　小規模農家や中規模農家の経営継続を今後どのように支援していくのか。

町長　具体的な支援策はないが、地域農業が維持できるよう、町としても取組を進めていく。



スマート農業への補助拡充を

問　スマート農業機械の共同利用・リース支援・ＩＣＴ研修などを強化する考えは。

町長　国の補助事業を活用し、支援を行っていく。



伊藤牧世（いとうまきよ）

一般質問

防災のデジタル化は

〈町長〉前向きに取り組みたい

問 閉校した3中学校へ避難を考えていた住民に対する周知は、ハザードマップやホームページで十分なのか。また、旧南郷中学校は名称変更がされており、避難所と理解ができているのか。

町長 周知だけで十分という認識はない。重要なのは住民自ら地域のリスクを理解し具体的に考えていただくことであり、周知を工夫し対応する。

問 美里中学校は指定避難所として、どの地域を網羅し、収容可能人数はどのくらいなのか。

町長 対象区域は定めていない。収容可能人数を1866人と見込んでいる。

問 災害時対応における職員の緊急連絡体制や安全な避難経路、避難場所の選定など、新たな取組みとしての防災のデジタル化は。

町長 住民と従事する職員自身の安全を確保することが重要である。今後、調査研究しながら前向きに取り組みたい。

問 避難所になる小学校体育施設にエアコンの設置を希望する。

町長 避難者の健康や生活環境を確保する観点から重要な課題である。補助制度や交付金などの動向を注視し検討する。



小牛田小学校会場に防災訓練

命を守る安全水泳学習を

〈教育長〉重要と考えている

問 学校プールでの授業に、不便はなかったか。

教育長 課題は暑さ対策で、水泳学習が実施できない場合も多くあった。学習時期、町のプールでの補充学習も協議する。

問 スイミングセンター利用はメリットが大きいのでは。また、学校プール施設の管理負担とコスト、施設の劣化、老朽化の状況は。

教育長 メリット、デメリットを取りまとめ論議したい。メリットとしては、移動距離もあるが安定して学習ができる。また、学校プールは老朽化が進み管理も多額なお金がかかる。トータル的に考えスイミングセンター利用も考えたい。天候の影響、安全管理や維持管理に係る教職員の負担、施設の経年劣化に伴う管理コスト増加など課題があり、水泳授業の在り方は検討の必要がある。

問 児童生徒に対する水上安全講習の状況は。

教育長 水難事故の際の自己保全技術を習得する実践的な学習として、小学校では着衣水泳を実施し、中学校は救命蘇生法も含めて学んでいる。

問 多くの子どもたちは水辺に潜む危険や泳力の過信が起こす事故、人命救助の知識がない。しっかりと安全水泳を学んで欲しい。

河川や海の特性を知ること、人命救助には救命技術や体力が必要であり、入水の判断などの命を守る安全水泳を学ぶ際には実技を入れ、高度な技術と知識を持つ方から学んで欲しい。自分の身を守る段階別指導を繰り返し、子どもたちを守るための教育を継続的に行っていただきたい。

教育長 命を守る教育として重要に考えている。情報提供いただいたことについて教育委員会で可能性を探り、研究を重ねていきたい。



継続的な安全水泳学習を（中埣小学校着衣泳）



関根浩幸

人的支援の受入れ体制は

〈町長〉早急に進めたい

問　大規模災害時、他自治体との関連した協定を締結しているか。

町長　県内外５つの自治体、福島県会津美里町、兵庫県豊岡市、東京都足立区、山形県最上町、東松島市と災害時における相互応援協定を締結している。

問　災害の種別や規模ごとに必要となる職員数および不足が見込まれる職員数を事前に算定しているか。

町長　災害の状況により、一概に想定することは難しいが、発災時には町の職員での迅速かつ効率的な災害対応を行い、不足する人員数について把握でき次第、関係機関に応援要請を行っていく。

問　応援職員の受入れを統括する体制、指揮命令の方法は整備されているか。

町長　地域防災計画に基づき、災害発生時に必要となる応援要請や、受入れについて対応する事としている。

　また、要支援者など、災害弱者の方々に対する具体的な対応手順は整理しておく必要があり、受援体制の整備を早急に進めたい。



災害対策本部となる本庁舎

肺炎球菌予防接種率向上を

〈町長〉必要な情報の発信に努める

問　高齢者肺炎球菌定期予防接種の補助対象者と過去５年間の接種率は。

町長　高齢者肺炎球菌定期予防接種の補助対象者は、満65歳を迎える方である。また、60歳から65歳未満の方のうち、心臓、腎臓等に一定の障害を有する方である。

　過去５年間の接種率は、３年度19・1、４年度20・5、５年度21・8、６年度11・1、７年度14・6パーセントとなっている。

問　定期予防接種の周知方法は。

町長　毎月満65歳となった方に対し、個別に通知を送付している。

問　複数の定期予防接種が重なる節目の年の方が接種漏れにならないよう、ワクチン手帳のような小冊子の活用はどうか。

町長　ワクチン手帳などの配布は考えていないが、今後も対象となる方やその家族が必要な情報を得られるよう努める。



健康寿命の延伸に



柳田政喜（やなぎだまさき）

一般質問

安全な避難路の周知を

〈町長〉浸水のマップを整備し公表

問 旧中学校の解体に伴い、各小学校の普通教室以外にエアコンを移設している。避難所として利用できないか。

町長 避難者数が多い時、酷暑日などに教室の利用も考えている。教育委員会と協議し、活用する。

問 利用していくということでよいか。

町長 そのようにしっかりと対応する。

問 新たな避難所美里中学校は、どの地区の避難を想定しているのか。

町長 目安として、旧不動堂・旧小牛田中学校学区の範囲である。

問 避難経路の安全は確認しているのか。

町長 ハザードマップ上、冠水する道も想定されるので情報を提供していく。

問 過去に冠水した道路を確認できるようにするとしていたが、現時点で住民は確認できるのか。

町長 現在は確認出来ない。どういった形が望ましいか、協議し検討する。

問 水害時に備え、全ての避難所への危険な避難路を周知すべきでは。

町長 過去の災害の経験も踏まえ浸水のマップを整備し、公表に努める。



冠水が心配されるアンダーパス

提案事業を実施できるのか

〈町長〉しっかり管理運営する

問 美里町スポーツ施設のホームページ更新がされていないのはなぜか。

町長 指定管理者の更新の遅れによるものである。早急に更新し、利便性の向上を図るよう指導する。

問 事業計画では、施設の各機能を網羅したホームページを作成するとなっていた。実際、遅れているというレベルじゃなく、カレンダーは真っ白で予約は機能してないが。

町長 事業初年度で、管理業務のほうに注視し、ホームページの更新が後回しになった。

問 施設の管理運営が遅延なく円滑に実施されるよう前団体から引継ぎされたはず、初年度で対応できない理由は。

町長 引継ぎは適切に行われた。遅れた理由は、想定外の関係団体との調整、実際の業務で生じた問題など当初の想定より膨大な量になったためである。

問 各団体をまとめ、施設管理するための指定管理者であって、初年度は言い訳にならない。これまで提案された各団体との連携事業など一つも実行されていない。今後実施できるのか。

町長 させなければいけない。しっかり管理をするよう指導していく。

利用者にご迷惑をおかけしたことをお詫びする。



スポーツ施設のホームページの改善を

米価下落対策を

〈町長〉農業者支援に努める



髙嶋秀治（たかしましゅうじ）

問　8年産米価格の下落対策は。

町長　本町の基幹産業である農業が継続されるため、再生産が可能な価格での取引が行われることが重要である。水田農業に係る施策が、適切に展開されるよう、国会議員、国や県に要請を行っていく。

町単独での米価対策については、概算金の状況や国県の動向から農業者支援に努める。

精米、加工工場を造る企業の意向や提案があれば、農家の所得向上対策のため、町はしっかり対応していく。



農家の所得向上対策を

窓口受付時間の短縮は

〈町長〉実施に向け準備を進めている

問　庁舎など窓口受付時間短縮の検討は。

町長　窓口対応時間の短縮は、県内の自治体での働き方改革の一環として実施されており、本町においても実施に向け、検討を進めている。

各種証明書のコンビニ交付サービスの利用促進、オンライン手続きの拡充などを進め住民の利便性確保と働き方改革の両立を図っていく。

現在、各課で課題と対応を調査中であり、1月から試行し、4月からの本格導入に向け準備を進めている。



住民の利便性確保と働き方改革の両立を



佐野善弘（さの よしひろ）

消費税減税政策農家に影響

〈町長〉いろんな形でバックアップ

問 町の7年度地方消費税はいくらか。また、食料品の消費税が減税の場合、いくらの減収になるか。地方交付税への影響は。

町長 地方消費税交付金は、6億4480万円であり、食料品の消費税率が減税の場合、年間約9000万円の減収見込みである。地方交付税は、年間で約1億4000万円の影響が生じる。

問 消費者への影響は。

町長 物価高騰が続く中で、家計負担の軽減につながる。

問 外食産業への影響は。

町長 軽減税率の対象外で外食を控える人が多くなると懸念している。

問 農業経営体への影響は。

町長 農業産出額が約76億7000万円で約5億3000万円の減額となる見込みである。

問 農家の経営体に非常に影響が出る政策なので、しっかりした対応をお願いしたい。

町長 いろんな形でバックアップしたい。



来年度から米も消費税減税

南郷病院持続可能な体制は

〈町長〉安定した経営の運営体制を構築

問 大崎市民病院地域医療連携拠点施設の概要は。工事費はいくらか。いつ開設し、どのような医療体制・医療強化になるのか。

町長 地上3階の鉄骨造り、延床面積3000平方メートルで、1階に夜間救急センターおよび感染症に対応した診察室など、2階に当直室および管理室、3階に講義室や実習室といった、大崎管内の医療人材育成を図るための施設として、大崎市民病院敷地内に現在建設中である。供用開始時期は、9年度下半期見込みである。

問 南郷病院の過去5年の決算状況は。

町長 3年度は5190万円の純利益、4年度は3878万円の純利益、5年度は1065万円の純損失、6年度は597万円の純損失、7年度は7659万円の純損失である。

問 経営形態や医療機能の在り方について検討を進めるとあるが、どのようになっているか。

町長 南郷病院の在り方について関係職員で庁内検討会議を8年6月に設置し、2回の会議を開催した。経営状況の分析と課題の把握を行った。

問 持続可能な運営体制の構築につなげていくとは。

町長 将来にわたって安定的で良質な医療サービスを提供し続けていくため、安定した経営状況の下に持続可能な運営体制の構築が重要となる。今後、診療内容や経営形態の見直しも含めた病院経営の在り方について調査検討を行っている。



医療機関として持続可能な運営を

一般質問 あれこれ



伊藤　牧世

施設の温度管理を適切に

問　公共施設のエアコン管理や温度設定は、熱中症予防および業務効率や学習能力を低下させないよう配慮された環境になっているのか。

　また、作業や業務により環境も異なる。効率的かつ効果的な空調管理を行いながら健康不安が無いよう対応を。

町長　48施設のうち、13施設は専門業者に保守点検を依頼し、35施設は職員が管理、自主清掃を行っている。

　省エネのみを優先するのではなく、柔軟な温度設定を許容している。健康管理が重要であると認識しており、熱中症予防の観点から実際の温度、湿度、利用者の状況を確認し、充分配慮するよう計画する。



髙嶋　秀治

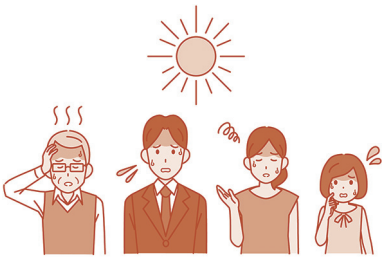
指定避難所にエアコンの設置を

問　指定避難所のエアコン設置状況は。

町長　指定避難所でエアコン設置のない施設は、南郷体育館、南郷第2体育館、南郷武道場、笹館集会所の4ヶ所である。

　学校施設については、教室に設置してあるが、体育館では、扇風機やスポットクーラーなどによる対策を行っている。

　設置予定の美里中学校体育館を除き、小学校体育館の活用方法を考えていく。



議会の活動（6月会議初日から9月会議前日まで）

美里町議会(本会議)	4日
議会運営委員会	2日
総務、産業、建設常任委員会	2回
総務、産業、建設常任委員会　所管事務調査	2日
教育、民生常任委員会	2回
教育、民生常任委員会　所管事務調査	3日
広報、広聴常任委員会	2回
広報、広聴常任委員会　広聴分科会	2回
広報、広聴常任委員会　広報分科会	4回
議会活性化調査特別委員会　第1分科会	4回
議会活性化調査特別委員会　第2分科会	3回
宮城県町村議会議長会　町村議会議員講座	1回

宮城県後期高齢者医療広域連合議会(美里町選出議員)

議員全員協議会	1回
定例会	1回

陳情書等一覧

9月会議で全議員に配布しました。

※陳情書とは、紹介議員のある請願書以外のものをいいます。

件　名	提 出 者	受付年月日
令和9年度　理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い	公益社団法人 日本理科教育振興協会 会長　大久保　昇	8年9月3日

追跡 あれどうなってんのしゃ

豪雨災害特別委員会で意見した「その後」を報告します。

4年7月に発生した大雨被害に関する要望書を県知事に提出しました

大雨による出来川堤防の決壊や名びれ沼越流堤の機能不全により、多くの農地が冠水被害を受けました。出来川堤防決壊の早期復旧と再発防止、名びれ沼越流堤の機能強化などを求めました。





水没した名びれ沼地区の排水作業（4年7月）

どうなった

住民の安心、安全な町づくりを目指し名びれ沼地区排水の機能強化が図られました





新設された排水ゲート

8年3月30日に名びれ沼地区排水ゲート設置工事が完了しました。

〇総事業費2508万円(実施設計154万円、工事費2354万円)

〇排水ゲート設置数　1基(幅1.5m　高さ1m)

委員派遣報告（常任委員会　所管事務調査）

研究課題の事例を調査

各常任委員会ではそれぞれの研究課題について、他自治体の事例を調査しました。その概要をお知らせします。

ふるさと納税について

視察先【茨城県つくばみらい市、茨城県筑西市】

総務、産業、建設常任委員会

目的

ふるさと納税は、自主財源の確保と地場産業の活性化につながる重要な施策である。美里町のふるさと納税は返礼品の工夫などに取り組んでいるが、７年度のふるさと納税寄付金は４４１１万円（宮城県内では２９位）と低迷している。

当常任委員会では、農業を基幹産業とし、成果を上げている茨城県つくばみらい市及び筑西市の取り組みについて調査研修し、美里町の今後のふるさと納税の充実と地域経済の活性化に資する政策提言につなげることを目的とした。

研修事項

① 担当部署の体制
② 返礼品
③ ポータルサイトとＰＲについて
④ 地域経済への効果
⑤ 寄付金の使途

研修概要

茨城県つくばみらい市

農業を基幹産業とする都市近郊型自治体であり、土地は広大な水田が広がる一方で丘陵部は住宅地が形成されている。基幹産業は農業で、米（コシヒカリ）を中心に果物、野菜などが主要農産物である。

直近のふるさと納税額寄付金は、元年に８００万円であったが、年ごとに増額の傾向にあり、２年度で４億円、３年度では20億円を超え、７年度では40億円に達している。



茨城県つくばみらい市視察研修の様子

茨城県筑西市

ほぼ全域が平地又はなだらかな丘陵地帯で、半分以上が田園地帯で占めている、生産量が県内１位の梨や米、イチゴ、スイカなど古くから農業が盛んな地域である。

職員３名の体制で進められており、返礼品については、地場産品の「高品質な農産物」や「加工食品」「生活必需品」の３軸で展開し、農産物（米、干しいも、高級梨、小玉スイカ、アールスメロン）、加工品（日本ハムのウインナー）、生活必需品（ボックスティッシュ）など多岐にわたっており、直近のふるさと納税額の推移は令和元年度で１億５千万円、年々増額の傾向で７年度では６億３千万円に達している。

まとめ

美里町の基幹産業は農業であることから、農産物（特に米）は、ふるさと納税を拡大するための大きな要因になる可能性を実感した。また商品開発や出店者の拡大、職員体制の整備、ポータルサイトやＳＮＳなどの有効活用、積極的な姿勢は学ぶ点が多々あった。

美里町においても、自主財源の確保と地域の魅力発信、地場産業の活性化などの重要な施策につながる美里のふるさと納税の戦略を検討されるよう執行部に強く提言する。


茨城県筑西市視察研修の様子

多様化する学習環境の充実

視察先【東京都渋谷区、埼玉県戸田市、東京都八王子市】

教育、民生常任委員会

目的

本町では7年4月に3つの中学校の統合により、美里中学校が開校し、町民の生涯学習の中核を担う場として、校内に地域学校連携室が設置された。また、全国的に不登校児童生徒が増加している傾向にあり、本町も同様に、不登校となる要因が多様化、複雑化しており、なかなか改善されない状況にある。

全国の先進地では独自の学習環境の整備、不登校対策などの事業が行われていることから、常任委員会の研究テーマを「多様化する学習環境の充実」とし、調査研究を行うこととした。

研修事項

本年度は子どもたちの学習環境の研究に重点を置き研修を行うこととした。

① 不登校支援について
② ＩＣＴの活用
③ ＧＩＧＡ端末の活用
④ 探究学習について


渋谷区西原小学校の探究学習を視察

研修概要

東京都渋谷区

探究学習探究「シブヤ未来科」は、東京都渋谷区が２０２４年度から本格導入した、全国初の大規模な「探究学習」プログラムである。文部科学省の授業時数特例校制度を活用し、すべての区立小中学校で従来の「総合的な学習の時間」を大幅に拡充し、午後の授業時間を中心に探究学習を行っている。


埼玉県戸田市視察研修の様子

埼玉県戸田市

ＩＣＴの利活用・デジタル化については、１人１台を生かした学びの構想でデジタルの力でリアルな学びを支えるとしている。

戸田型オルタナティブ・プランについては、誰一人取り残されない教育を目標とし、早期発見・早期対応、適切な支援を行うため、リアル・デジタルの両面からの支援を充実、各居場所の連携を強化している。

東京都八王子市

給食センターを活用した子どもたちへの食支援については、貧困状況にある子どもに対する支援が重要な課題になるなど、家庭や個人の努力のみでは、健全な食生活の実践が困難な状況がある。子どもの取り巻く環境が貧困・不登校など複雑化している中で、子どもを「食」で応援する取り組みを推進している。


東京都八王子市視察研修の様子

まとめ

今回の所管事務調査では東京都渋谷区の探究学習（シブヤ未来科）、埼玉県戸田市の教育改革、東京都王子市の給食センターを活用した子どもたちへの食支援と、各教育委員会の先進的取り組みを確認することができた。

東京都渋谷区では、教育現場の校長先生をはじめとする教員の強い熱意、次はもっとうまく導くことができるという自身も感じられ、児童と共に探究している姿が印象的であった。

また、東京都八王子市では担当職員が臨機応変、柔軟に対応し、事業を支えていた。

以上のように先進地では、明確な目的意識を持ち、皆で共有、同じ方向を向きながら困難に立ち向かい各事業を推進している。町が一体となり、改革を進めていくべきであると感じた。

※報告書はこちら（町議会↓委員会活動記録）

みなさんの声

議会だよりのクイズにお寄せいただいたハガキやメールのメッセージを一部ご紹介します。

職場でも見ています

毎月美里の方が職場に持ってくるので拝見しております。こんな事もしているんだなって思いながら見ています。（33歳）

わかりやすくて楽しみ

いつも楽しく拝見しています。町のことを知るには一番いい広報誌ですね。また楽しみにしてます。（62歳）

安心できる施設

小牛田小学校の敷地内に放課後児童クラブが設置されて、いつも車で通って見ていますが、校内に出来たことで、ご家族の方が近くで安心して子供さんを預けられること、子育てを終えた私にはその大変さが解るだけに本当に良かったなと思いました。（73歳）

クイズを楽しみに

クイズを楽しみながら見てます。（43歳）

大木を伐りました

今年の5月頃に屋敷に昔から植えてある松の木90年くらいの大木と柿の木と梅の木、栗の木、杉の木合わせて30本を土木さんに切ってもらいました。シバも切ってもらいました。先月5月頃に峯山小学校付近に熊が出たのでビックリしました。私の家は鳴瀬川に沿って土手の所なので主人と私は体が不自由なので切っていただきました。（81歳）

80歳の記念に

10月で80歳になるので記念に思って出しました。（80歳）

イベント楽しかった

「みなさんの出番です」では、美里町で行われているイベントを支えている方々を知る事ができて良かったです。私たちが楽しむ事ができるのは、みなさんのおかげなんですね。ありがたいです。（73歳）

とても見やすい

美里町で行われている事を詳しく知ることができ、写真なども掲載されており、とても見やすいです。これからも発行されるのを楽しみにしています。（63歳）

皆さん身体に気をつけて

議員さん、職員の皆さん、身体に気をつけて、がんばって下さい。吹く風に秋の気配を感じられます。（82歳）

農業に期待

南郷に来て満六年、当初は「何にも無い」と思いましたが、「何も無いからイイ」と思えるまでになりました。お米があっての遠田です。先に希望があるのかあかりは見えませんが農業の経営拡大や農地の集約化、耐暑型の新品種の採用、ドローンの活用、支援事業のより一層の拡充を期待します。（74歳）

活動内容がわかる

議会だよりには、美里町で何を話し合われているのか、活動内容など詳しく知ることが出来るので活用させていただいております。（44歳）

議員の活動に感謝

議会だよりを毎回楽しみに読んでいます。議員さんの活動に感謝します。体に気をつけて頑張って下さい。（77歳）

表紙写真

10月8日不動堂小学校の稲刈り体験授業におじゃましました。

たわわに実った稲を小学5年生の皆さんが、一生懸命に楽しく刈っていました。



くいがけに挑戦



きれいに刈るのはむずかしい

～エール～ YELL





おひざにだっこの会

Q　活動をはじめたきっかけは？

A　平成11年、読み聞かせ講座を受講した方々を中心に小牛田図書館で誕生したボランティアグループです。

おはなし会を通じて赤ちゃんとご家族の方が笑顔でいられるように、0歳から3歳までのお子さんとご家族を対象とした読み聞かせ活動を行っています。

誕生から今年で27年、現在６名のメンバーがおり、一番長いメンバーは23年目になります。赤ちゃんの笑顔がメンバー全員の活動(元気)の源です。

Q　活動内容をどうぞ！

A　毎週火曜日に小牛田図書館でおはなし会を行っています。内容は、絵本の読み聞かせや紙芝居の上演、赤ちゃんとご家族が楽しむことができるふれあい遊びなどです。ほかにも、月2回の子育て支援センターにおける出前おはなし会や、定例のおはなし会の内容をパワーアップしたスペシャルおはなし会も年2回開催しています。

スペシャルおはなし会では参加したみなさんにメンバー手作りのプレゼントを差し上げています。おはなし会だけではなく、家庭でも絵本を通じて赤ちゃんとご家族の時間が豊かに過ごせるように、願いながら活動を続けています。

Q　議会だよりの感想や議会に一言！

A　写真の構成も以前よりわかりやすくなりました。5月1日号(№87)の「議員13人の想い」では、議員さんの議会に対する想いと、その想いあふれるポーズの写真がとても良かったです。

町民のみなさんに語りかける表現は、読んでいて親しみやすさを感じました。今後も続けてください。



これからも絵本に親しむ赤ちゃん達の笑顔を育んでください

Q クイズ



問　○の中には、どんな数字、文字が入るでしょうか。

①○年度決算をチェック

②一般質問は○人の議員が16項目にわたり、町の方針を問いただしました。

③ ○○○にだっこの会

応募方法

ハガキまたはＥメールに答え、住所、氏名、年齢、ご感想などを記入の上、議会事務局までお寄せください。正解者の中から抽選で５人に記念品を差し上げます。

あて先

〒987－8602
美里町議会事務局　議会だより係
E-mail:gikai@town.misato.miyagi.jp

締切日

令和８年11月30日(月)(当日消印有効)

前号の当選者　おめでとうございます
（応募23件、正解者23人）

・高　泉　博　美　さん　（荻埣）
・川　名　ゆかり　さん　（牛飼1区）
・高　橋　康　弘　さん　（彫堂）
・石　田　奈津子　さん　（的場柳原）
・高　橋　スク子　さん　（上二郷1）

◎前号の答え

88号の答え（①７　②議会　③不）

皆さん議会を傍聴してみませんか

次回の会議　予定

12月8日(火)午前10時から

一般質問通告書は、ご希望の方に無料で提供します。

議会ライブ中継配信

会議の映像を配信しています。ホームページからご覧になれます。

議会だよりでお伝えしきれない会議の記録は、美里町議会公式ホームページまたは近代文学館や南郷図書館でご覧になれます。

美里町議会公式ホームページ
(URL:https://www.town.misato.miyagi.jp/15tyogikai/index.html)
の「会議録、報告書」から閲覧できます。

編集後記

熊本地震や千葉県、北陸地方での豪雨災害などで被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興を願っております。

さて、今夏は町内で子どもたちの笑顔が多く見られました。特に「小牛田えきフェス」では、多くの子どもたちが参加し、活気に満ちていました。皆さんが楽しむ姿は、地域のつながりの大切さを改めて感じさせるものでした。

議会では7年度決算審査や一般質問が行われ、町民生活に関わる課題について活発な議論が続きました。議会広報として、こうした動きをわかりやすくお伝えできるよう紙面づくりに努めています。皆様からのご意見を励みに、今後も読みやすく親しみやすい議会だよりの作成を目指してまいります。

（平吹　淳）



実物車両を間近で

発行責任者
議長　鈴木宏通

広報、広聴常任委員会
広報分科会
委員長　伊藤牧世
副委員長　髙嶋秀治
委員　関根浩幸
委員　平吹淳
委員　鈴木恵悦
委員　佐野善弘